

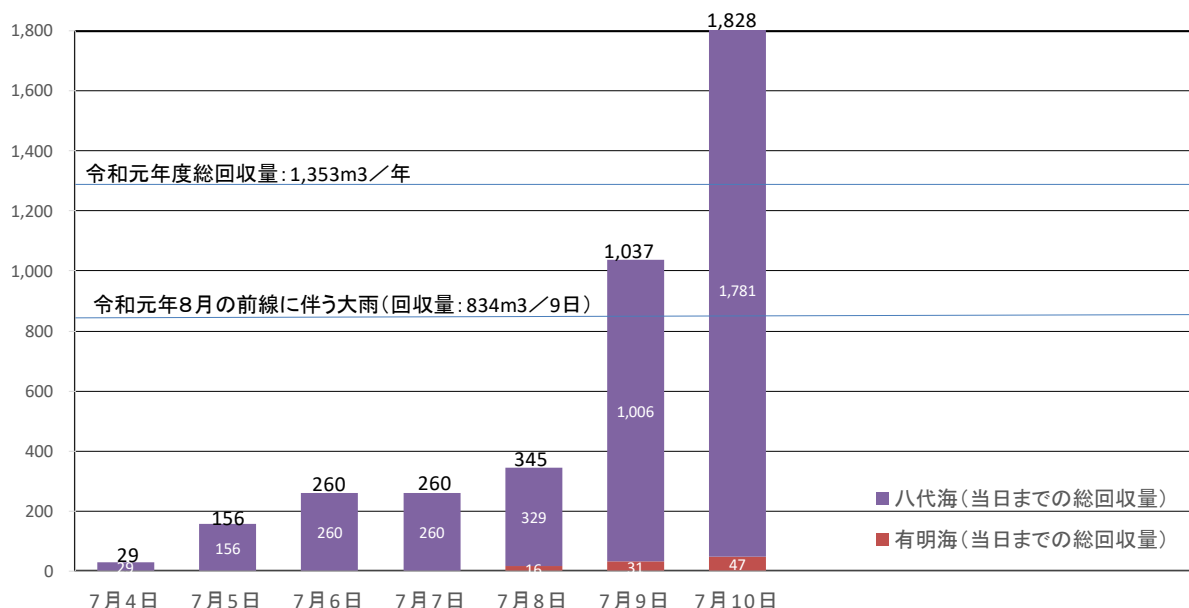
有明海・八代海において大量の漂流物を回収**～ 令和2年7月豪雨災害に関する九州地方整備局の取り組み ～**

かいき かいこう
支援台船、海洋環境整備船「海輝」「海煌」による漂流物回収
八代港における国による港湾施設の一部管理

令和2年7月豪雨の影響により、有明海・八代海において流木をはじめとした大量の漂流物が確認されました。

航行船舶の安全を確保するため、国土交通省九州地方整備局熊本港湾・空港整備事務所では、7月4日より海洋環境整備船「海輝」「海煌」2隻を投入して漂流物の回収作業を実施しています。漂流物が大量のため、（一社）日本埋立浚渫協会及び九州港湾空港建設協会連合会の支援台船も投入して回収作業を行っています。

令和2年7月豪雨災害の漂流物回収量(有明海、八代海)



7月4日から本日までの7日間で1,828m³の漂流物を回収しました。この量は有明海、八代海における昨年度1年間の回収量1,353m³を上回る漂流物をわずか7日間で回収したことになります。九州地方整備局では引き続き回収作業を実施してまいります。

また、本日より港湾管理者からの要請により、国が八代港の港湾施設の一部管理を行っております。港湾区域内外を一体的に国が管理することにより、迅速かつ広域的な流木等の除去を行えるようになりました。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課
課長 本田 一行 代表：092-418-3380
国土交通省 九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所
副所長 今村 俊博 代表：096-357-1134



[7月5日 海輝による流木回収]



[7月6日 支援台船による流木回収]



[7月7日 陸揚げした流木の切断作業]



[7月8日 海輝による漂流ごみ回収]



[7月9日 支援台船による漂流ごみ回収]



[7月10日 支援台船による漂流ごみ回収]